

『思いやりの心を育む』

藤枝市立瀬戸谷小学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム				職員研修				
4月	全校活動 (遠足オリエンテーション) なかよしランチ 縦割り遠足	授業で育てる話し方・聴き方	児童会スローガンを意識した取り組み(委員会・集会)	重点目標を意識した取り組み(授業・生活・行事)	地域とつながる総合的な学習の時間	<u>学級で取り組むプログラム</u> 【1年】 「どんなきもち?」 「クラスのメンバーを知ろう」 「にっこりことばにへんしん」 【2年】 「すてきなあいさつをしよう」 「じょうずな話のききかた」 「心の中の鬼を探そう」 【3年】 「上手な断り方」 「友達の話最後まで聞く」 「今の私の気持ちは何色」 【4年】 「相手への伝え方」 「元気の出る聴き方」 「やさしいたのみ方」 【5年】 「上手に話を聴けるかな」 「協力の敵は何か」 「心の温度計」 【6年】 「もっと上手に話を聴けるかな」 「いじめ問題を考えよう」 「ストレスの上手なつきあい方」	職員会議(ピア・サポート年間活動計画の共通理解)			
5月										
6月	小中合同学校保健委員会									
7月	なかよし遊び 自然教室 体育祭結団式									
8月										
9月	小中合同体育祭練習									
10月	小中合同体育祭 なかよし遊び									
11月	なかよし遊び 校内音楽会 稲葉小との交流会 (6月~12月) 修学旅行									
12月	なかよし遊び									
1月	なかよし遊び									
2月	スーパーなかよし遊び 6年生ありがとうの会 なかよしランチ									
3月	卒業式 修了式									教育課程編成会議 (今年度の振り返り、来年度の計画)

1 本校のピア・サポート

「支え合い」や「関わり合い」を大切に、「思いやりの心」を育めるよう意図的・計画的にピア・サポート活動を教育活動に組み込んでいる。また、クラスの仲間だけでなく、縦の繋がりを意識した活動を多く取り入れたり、地域の方と関わる活動を取り入れたり学校全体、地域全体で思いやりの心を育てている。

2 特徴的な活動

I なかよし班活動

なかよし班とは、1年生から6年生を6つの縦割りグループに分け、様々な活動をグループごと行うものである。

・なかよし遊び〈提言4、5、6〉

本校では、毎月1回ずつ縦割りグループでなかよし遊びを行っている。6年生から順番に持ち回りで遊びの内容を考えている。どんな遊びがよいか考えることも他者を思いやることにつながったと考えられる。

また、上級生が下級生に遊びを教えたり、一緒に喜び合ったりするなどお互いを思いやる場面が見られた。遊びの最後には、必ず振り返りをし、遊びを企画してくれた学年にお礼をするなど自分たちから進んで行っている。遊びを考える学年だけではなく、他の学年にとっても心の成長につながる活動になった。

II 小中連携

・小中合同体育祭〈提言1〉

今年度で11回目となった「小中合同体育祭」。小学生と中学生が同じ目的意識をもち体育祭に取り組めるように、小中共通の体育祭の目標を掲げ、子どもたち自身が考えて練習に取り組んだ。練習では、中学生が、小学生にも分かるように事細かに教えてくれたり、高学年の子が低学年の子に「水分とってね。」と気遣う声かけをしていたりと相手を思いやる姿が多く見られた。体育祭を通して、中学生、小学生共に心情面での成長が見られた。

III 地域とのつながり

・総合的な学習の時間〈提言4〉

総合的な学習の時間に地域の方の力をお借りし、学習活動を行っている。6年生は、大工の方と一緒に本箱作りをしたり、2・3年生は、地域の方を招き竹で作る水鉄砲作りを体験したりした。どの学年も協力していただいた地域の方に「ありがとうございます。」と感謝の気持ちを込めて、あいさつをしていた。校内だけではなく、学校外でもピア・サポートの広がりが見られた。

3 本年度の成果と来年度に向けて

○なかよし班、中学生や地域の方との交流を通して、自然にかかわり合えるあたたかい雰囲気を作られている。下級生は上級生の姿を見て、学んでいる姿も見られた。

●学校の中で培ったピア・サポートの心を普段の生活の中で活用できるように考えていく必要がある。そのためには、各活動における目的の明確化や家庭や地域に向けての情報発信などが考えられる。

本校の児童は優しく、友だちと温かい関わりができる子が多い。しかし、集団の中で発言したり、自分の思いを語ったりすることに苦手さを感じている子が多いと感じる。安心して自分の思いを語れる様な雰囲気や、自分とは違った意見を受け入れる心を育てていく活動をしていきたい。そのために、年間を通して計画的に活動を行い、活動の成果を積み上げていく必要がある。